



欄に数値またはコメントを記入

<b>1. 建物概要</b>			
建物名称	(仮称)株式会社プラエッジ新工事業新築工事	BEE	0.8 BEEランク B- ★★

<b>2. 重点項目への取組み度</b>			
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.2	/5	ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8	/5	がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.4	/5	ふつつ
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.5	/5	ふつつ
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4点以上  ふつつ 3点以上  がんばろう 3点未満

<b>3. 重点項目についての環境配慮概要</b>		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点	3.2
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④準不燃ビニールクロス使用</li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥敷地の68.9%分の空地进行、風の通り道を確保し、敷地内の温熱環境が良くなるよう配慮した。</li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨外皮性能の向上と一時エネルギー消費量を抑えるように配慮した。</li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪大便器は、超節水型便器を採用し、節水ができるよう配慮した。⑬断熱材は発泡剤を使わず、グラスウールを採用した。</li> <li>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮卓越風向に対する建築物の見付面積比を44%とし、風通しが良くなるよう配慮した。また、敷地や建築物に対し十分な台数の駐車場および駐輪場を設置し、交通負荷が抑制できるよう配慮した。</li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制	
	LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒	
	LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
	<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		得点
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰電気設備・通信設備ともに、浸水する危険性がない。</li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点	3.4
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳各階の階高は4.0m超とし、階高に余裕をもたせた。㉑壁長さ比率を、1階0.18・2階0.26としそれぞれの空間にゆとりを持たせた。</li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉒地域性・アメニティへの配慮) ㉒1階共用部に防犯カメラを設置し、防犯性に配慮した。</li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑳ 3.1.2 ㉑ Q-3 3 3.1 ㉒	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑳ 階高のゆとり ㉑ 空間の形状・自由度 ㉒ 地域性への配慮、快適性の向上	
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点	3.5
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥敷地の68.9%分の空地进行、風の通り道を確保し、敷地内の温熱環境が良くなるよう配慮した。</li> <li>■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮隣等間隔指数3.09を確保し、夏季に敷地内を通る風が回復しやすいようにした。</li> </ul>	Q-3 1 ⑤ 2 ⑥ 3 3.2 ⑥ LR-2 2 2.5 ⑮ LR-3 2 2.2 ⑮	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑮ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善	